

くらし支える県・市に変える 子育て応援・ジェンダー平等へ

(性別による格差・差別のない社会)

日本共産党



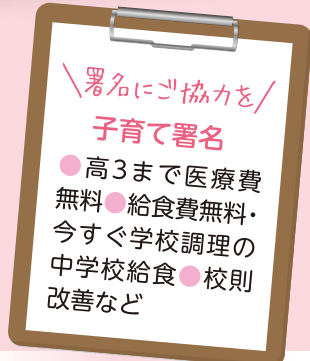
県議員
きだ ゆい
2児の母



高3まで
医療費の助成が
実現しました



市議員
松本のり子



●1970年生まれ。神戸女子薬科大学卒。薬剤師。東神戸病院などに勤務●2011年、県議員に初当選。現在3期目●東神戸医療互助組合理事、東灘民主商工会顧問、保育所父母の会元会長●渦森台在住。家族は夫、大学生と高校生の女子、猫2匹



●1956年神戸市垂水区で生まれる。神戸山手女子短期大学卒業。●三菱レイヨン(株)大阪支社入社。2人目出産時に退社。●しばらく子育てに専念して、兵庫県自動車整備商工組合に勤務。●1999年より市会議員。●趣味は観劇。



かけがえのない「今」を未来につなぐ 日本共産党

兵庫県議会・神戸市議会になくならない議席です

きだ 結 願い実現 数多く



きだ県議は3期12年、東灘区のみなさんをはじめ市民、県民と力を合わせ、中学校給食の改善、全県で子ども医療費無料化の拡大、痴漢対策の大きな前進、土砂災害や浸水などの復旧・防災工事の実施、イノシシ対策の強化など多くの要求を実現してきました。

■県政支える「オール与党」

2021年に斎藤元彦知事が誕生しましたが、前県政の福祉切り捨てや大型開発をそのまま引き継ぎ、大阪のカジノを見込んだ外国人集客も計画し、女性副知事や30人学級などの公約は放棄。

知事選で対立候補を推した党も含め、日本共産党以外の全ての政党(自民・公明・維新・立憲・国民)が

斎藤知事提案の予算や議案に100%賛成しており、「オール与党」体制が復活。

東灘区民の切実な声を県政に届ける議員はきだ県議だけです。

松本のり子 差別・偏見のない社会へ

自治体パートナーシップ制度

(LGBTQ+カップルの関係を自治体が公的に認証する制度)

政令市の未導入は2市のみ

政令市で導入していないのは仙台、神戸の2市になっています。仙台市は資料を集めて検討しています。全く検討していないのは神戸市だけです。

法律で同性婚はまだ認められていませんから、各自治体がパートナーシップ制度の導入を行っています。ぜひ神戸市として政令市最下位になる前に、また憲法13条、14条の法の下での平等の精神にもとづき、早急に導入するようにと強く求めています。



福祉局審査(2023年9月29日)

岸田政権は 退陣を

- 大軍拡・大增税の戦争国家づくりストップ! 憲法9条生かし東アジアに平和の枠組みを
- 統一協会と自民党との癒着の徹底解明を
- 賃上げと消費税5%減税・インボイス中止で物価高騰から暮らしを守る

